

# 社会福祉法人 芙蓉の家 平成28年度 事業報告書(案)

平成28年度におきまして、当法人が実施いたしました事業実施の概要は次の通りでありましたので御報告致します。

## 1. 運営

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

### (1) 第二種社会福祉事業

(イ) 障害福祉サービス事業の経営 (就労継続B型 松永作業所)  
(就労継続B型 徳島作業所)

(ロ) 特定相談支援事業の経営 (さぼーと)

(ハ) 老人デイサービス事業の経営 (さぼーと、みらくる)

### (2) 公益を目的とする事業

(イ) 居宅介護支援事業 (さぼーと)

### (3) 収益を目的とする事業

(イ) 自立支援型共生ホーム (さぼーと) の設置経営

## 2. 事業計画の実施状況

### A. 法人全体としての取り組み

#### ①情報公開 (継続事業)

機関紙を1・5・7・9月に発行しました。ホームページを改正して各事業所の決算書・行事・イベント等をトピックスとしてその都度公開した。

#### ②法令順守 (継続事業)

年度当初に法や制度等を守ることの重要性やそれが適正かつ信頼のおける事業運営に繋がっていくことの勉強会を予定していたが、当法人と契約している社会保険労務士の都合が悪く27年度に続き研修を実施することができなかった。

#### ③規程の見直しと制定

給与規程、経理規程、慶弔規程、旅費規程、昇格・昇進等規程の一部改正をおこないました。また、特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針と役

員等費用弁償規程、評議員選任・解任委員会 運営規則の制定を行いました。  
各規程とも役員・職員に周知し適正に運用しています。

#### ④自主的内部検査（継続事業）

福祉サービス第三者評価表（サービス編：障害者施設版）を利用してデイサービスセンター管理者 和田典子と統括 井出和人で徳島作業所のサービス管理責任者 渡辺桂輔参加のもと事業の確認・検査を11月21日（月）に行いました。おおむね良好でした。

#### ⑤人材確保

例年実施してきた大学就職課への訪問は時間と段取りがかかるのみで、それに比例しての効果が期待できません。よって、学校訪問は中止し学校主催の求人説明会に参加し人材確保に努めてきました。しかし、新卒者の応募は0人でした。

就職情報サイトを利用した求人活動も、学生の多くが閲覧する求人サイトに掲載したり福祉系学生へダイレクトメールを送ったりしましたが効果はありませんでした。

現在の人材確保は人材派遣会社の紹介のみになっています。

### B. 各事業所の取り組み

#### ①4S（整理・整頓・清掃・清潔）運動

11月を清掃月間に定め、利用者と職員が事業所において快適・能率的に過ごせるように、各事業所で大掃除を行いました。4Sチェック表をもとに全職員真剣に取り組んでいただき、整理整頓も含め環境整備を行うことができました。

#### ②職員の資質向上

国家資格が「最低限の専門性」と考え、最低限の専門の知識・技術を身に着けるために資格取得を推奨しました。平成28年度は1名が社会福祉士を受験し合格しました。資格取得に対して報奨金も支給しました。

また、施設内で実施される利用者・職員の「権利擁護や虐待」等についての学習や送迎等の「安全運転」「事故防止」の研修へも多くの職員に参加していただき、おかげで送迎時のトラブルが減りました。

#### ③収支の確認

10月に各事業所において、上半期の収支状況を管理者・職員に説明し理解

していただく場を設ける予定でしたが、業務の都合で時間が取れなくなり、実施できませんでした。

### C. 施設整備事業と修繕事業

#### ①障害者グループホームの整備

チームを組み、ミーティング（1カ月に1回）を繰り返しながら整備を進めました。結果、今津町のアパート2F5室を借りて定員4名で平成29年5月1日よりスタートできることとなりました。個の力より組織の力の偉大さを身に染みて感じました。

#### ②各事業所の環境整備と松永作業所への相談室整備、照明器具の交換工事

松永作業所の本館奥の作業室を、簡易な工事で、相談室としての機能を持った部屋へリニューアルしました。改修工事費677,160円と備品費372,896円かかりました。

また、松永作業所の門も老朽化により開閉が難しくなっていたので370,440円で取り換え工事を行った。

松永作業所の照明器具をLEDに交換する工事を予定していたが、門の取り換え工事に費用が掛かり本年度は中止した。

#### ③財務会計ソフトの更新契約について

法人で使用している財務会計ソフトの使用権更新を2016年4月1日に行った。2021年3月31日までの5年間の更新で毎年60,000円の支払いを実施していく。

## 3. 運営の実施状況

### (1) 理事会

①日時 2016年 5月26日 午前11時30分 ～ 午後12時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 会議室

理事総数6人 6名出席、監事総数2人 2名出席

#### 審議事項

○第1号議案 平成27年度本部・施設（松永作業所・徳島作業所）・居宅介護支援事業・通所介護事業（さぼと・みらくる）・自立支援型共生ホーム・相談支援事業の事業報告書(案)、財産目録(案)、貸借対照表(案)、収支計算書(案)について

○第2号議案 社会福祉法人 芙蓉の家 給与規程の一部改正（案）について

○第3号議案 社会福祉法人 芙蓉の家 経理規程の一部改正（案）について

○第4号議案 熊本地震及びそれに伴う災害に係る義援金の拠出（案）について

○第5号議案 「特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針」（案）の制定とそれに伴う社会福祉法人 芙蓉の家 個人情報保護規程の一部改正（案）について

②日時 2016年 8月18日 午前11時15分 ～ 午後12時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 会議室

理事総数6人 6名出席、監事総数2人 2名出席

審議事項

○第1号議案 評議員の選任について

○第2号議案 内部監査人の選任について

○第3号議案 福祉サービスに関する苦情解決規程の第三者委員の選任について

○第4号議案 社会福祉法人 芙蓉の家 経理規程の一部改正について

③日時 2016年 8月19日 午前10時00分 ～ 午後10時30分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 会議室

理事総数6人 6名出席、監事総数2人 2名出席

審議事項

○第1号議案 理事長の選任について

○第2号議案 理事長の職務代理について

④日時 2016年11月17日 午前11時00分 ～ 午前12時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 会議室

理事総数6人 6名出席、監事総数2人 2名出席

審議事項

○第1号議案 賃借権解除及び地上権設定の件について

○第2号議案 理事長の職務代理人の選任の件について

⑤日時 2016年11月18日 午前10時45分 ～ 午後11時30分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 会議室

理事総数6人 6名出席、監事総数2人 2名出席

審議事項

○第1号議案 社会福祉法人 芙蓉の家 経理規程と経理規程 細則の一部改正について

○第2号議案 役員等費用弁償規程の制定について

○第3号議案 慶弔規程の一部改正について

○第4号議案 旅費規程の一部改正について

⑥日時 2016年12月19日 午前11時00分 ～ 午後12時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 会議室

理事総数6人 6名出席、監事総数2人 2名出席

審議事項

○第1号議案 福祉サービスに関する苦情解決規程の第三者委員の選任について

○第2号議案 出張旅費規程の一部改正について

○第3号議案 定款変更について

⑦日時 2017年 2月 2日 午前11時30分 ～ 午後12時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 会議室

理事総数6人 6名出席、監事総数2人 2名出席

審議事項

○第1号議案 定款変更の承認について

○第2号議案 評議員選任・解任委員会 運営規則の制定について

○第3号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について

○第4号議案 障害者グループホーム整備委員会の新共同生活援助事業（グループホーム）整備の進捗状況について

○第5号議案 徳島作業所と新グループホームの施設長の選任について

⑧日時 2017年 3月23日 午前11時30分 ～ 午後12時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 会議室

理事総数6人 6名出席、監事総数2人 2名出席

審議事項

○第1号議案 平成28年度の補正予算（案）について

○第2号議案 平成29年度事業計画（案）及び資金収支予算（案）について

○第3号議案 社会福祉法人 芙蓉の家 昇格・昇進等規程の一部改正（案）について

○第4号議案 社会福祉法人 芙蓉の家 給与規程の一部改正（案）について

○第5号議案 評議員2名の辞任について

○第6号議案 評議員2名の選任について

○第7号議案 居宅介護支援事業所 さぼーとの管理者の選任について

- ⑨日時 2017年 3月24日 午前10時00分 ~ 午後10時30分  
会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 会議室  
理事総数6人 6名出席、監事総数2人 2名出席  
審議事項  
○第1号議案 評議員候補者の推薦について  
○第2号議案 評議員選任・解任委員会の招集について

## (2) 評議員会

- ①日時 2016年 5月26日 午前10時 ~ 午前11時30分  
会場 障害者福祉サービス事業 松永作業所 会議室  
評議員総数13人 13名出席、監事総数2人 2名出席  
審議事項  
○第1号議案 平成27年度本部・施設（松永作業所・徳島作業所）・居宅介護支援事業・通所介護事業（さぼと・みらくる）・自立支援型共生ホーム・相談支援事業の事業報告書(案)、財産目録(案)、貸借対照表(案)、収支計算書(案)について  
○第2号議案 社会福祉法人 芙蓉の家 給与規程の一部改正（案）について  
○第3号議案 社会福祉法人 芙蓉の家 経理規程の一部改正（案）について  
○第4号議案 熊本地震及びそれに伴う災害に係る義援金の拠出（案）について  
○第5号議案 「特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針」（案）の制定とそれに伴う社会福祉法人 芙蓉の家 個人情報保護規程の一部改正（案）について

- ②日時 2016年 8月18日 午前11時00分 ~ 午前11時15分  
会場 障害者福祉サービス事業 松永作業所 会議室  
評議員総数13人 13名出席、監事総数2人 2名出席  
審議事項  
○第1号議案 役員の選任について  
○第2号議案 社会福祉法人 芙蓉の家 経理規程の一部改正について

- ③日時 2016年11月17日 午前10時00分 ~ 午前11時00分  
会場 障害者福祉サービス事業 松永作業所 会議室  
評議員総数13人 13名出席、監事総数2人 2名出席  
審議事項  
○第1号議案 賃借権解除及び地上権設定の件について

④日時 2016年11月18日 午前10時～午前10時45分

会場 障害者福祉サービス事業 松永作業所 多目的室

評議員総数13人 13名出席、監事総数2人 2名出席

審議事項

- 第1号議案 社会福祉法人 芙蓉の家 経理規程と経理規程 細則の一部改正について
- 第2号議案 役員等費用弁償規程の制定について
- 第3号議案 慶弔規程の一部改正について
- 第4号議案 旅費規程の一部改正について

⑤日時 2016年12月19日 午前10時～午前11時00分

会場 障害者福祉サービス事業 松永作業所 多目的室

評議員総数13人 13名出席、監事総数2人 2名出席

審議事項

- 第1号議案 監事と第三者委員の変更について
- 第2号議案 出張旅費規程の一部改正について
- 第3号議案 定款変更について

⑥日時 2017年 2月 2日 午前10時30分～午前11時30分

会場 障害者福祉サービス事業 松永作業所 多目的室

評議員総数13人 13名出席、監事総数2人 2名出席

審議事項

- 第1号議案 定款変更の承認について
- 第2号議案 評議員選任・解任委員会 運営規則の制定について
- 第3号議案 障害者グループホーム整備委員会の新共同生活援助事業（グループホーム）整備の進捗状況について
- 第4号議案 徳島作業所と新グループホームの施設長の選任について

⑦日時 2017年 3月23日 午前10時00分～午前11時00分

会場 障害者福祉サービス事業 松永作業所 多目的室

評議員総数13人 13名出席、監事総数2人 2名出席

審議事項

- 第1号議案 平成28年度の補正予算（案）について
- 第2号議案 平成29年度事業計画（案）及び資金収支予算（案）について
- 第3号議案 障害者グループホーム整備委員会の新共同生活援助事業（

グループホーム) 整備の進捗状況について

- 第4号議案 社会福祉法人 芙蓉の家 昇格・昇進等規程の一部改正(案)について
- 第5号議案 社会福祉法人 芙蓉の家 給与規程の一部改正(案)について
- 第6号議案 理事2名の辞任について
- 第7号議案 理事2名の選任について

### (3) 監事監査

2016年 5月19日

障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

監事2名全員出席

審議事項

平成27年度本部・就労継続支援B型事業・居宅介護支援事業・相談支援事業・通所介護事業・収益事業の決算報告(案)、事業報告(案)と財産目録(案)の確認と監事監査チェックリストに沿った監査

### (4) 内部監査

2016年 5月19日

障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

石川 美鈴 理事

審議事項

経理規程に沿った会計処理の監査

### (5) 報告事項

#### ◎ 指導部

#### 1. 松永作業所

〈施設行事〉

- (1) 4/2 花見会を高諸神社にて実施した。
- (2) 9/18 第23回ゲタリンピックのゲタ競技に26名が参加した。
- (3) 11/1~2  
城崎温泉(兵庫県)へ一泊旅行をする。
- (4) 12/28 忘年会を松永茶寮で行った。

〈親善行事〉

- (1) 5/22 東部親善球技大会がびんご運動公園(尾道市)で開催さ



れ28名が参加した。

- (2) 7/9 わいわいナイトフェスタまつながを松永作業所にて開催した。
- (3) 9/11 東部親善スポーツ大会が竹ヶ端運動公園（福山市）で開催され15名が参加した。

〈施設実習〉

- (1) 8/23～26  
チャレンジウィークふくやまで松永中学校2名、大成館中学校2名が体験に実習に来られた。
- (2) 8/22～26、9/5～9  
福山大学3年生2名が介護等体験を実施した。
- (3) 11/17  
福祉体験学習で大成館中学校1年生約25名が来られた。

〈避難訓練〉

9/27（松永・徳島合同）

〈自治会・クラブ活動〉

4/16（1日作業）、5/7、14（1日作業）、28（1日作業）、  
7/2、23（1日作業）、8/6（半日作業）、20（1日作業）、  
9/3、10/1、15（1日作業）、11/5、26（1日作業）、  
12/3（半日作業）、24（クリスマス会）、1/7、14、28（半日作業）、3/4

〈グループ別活動〉

5/21、7/30、8/27、10/22、12/17、1/21、  
2/24（半日作業）

〈職員研修〉

施設内

4/19

「新人職員研修」

デイサービスセンターさぼーと相談室、松永作業所会議室

参加者：上品優、吉岡幸彦、東希香

施設外

3 / 8

「広島県知的障害者福祉協会総会 研修会」

広島県知的障害者福祉協会

ホテル広島ガーデンパレス

施設長 渡辺王憲

3 / 15

「はなお 定例会」

松永・沼隈福祉連絡会はなお

老人保健施設 かなえ

生活支援員 瀧安雄太

3 / 18

「福山福祉専門学校 第21回卒業証書授与式」

福山福祉専門学校

福山ニューキャッスルホテル

統括 井出和人

3 / 23

「広島県知的障害者福祉協会総会 福山・府中圏域会議」

広島県知的障害者福祉協会

パレットせいわ

施設長 渡辺王憲

3 / 24

「指定障害福祉サービス事業者等集団研修」

広島県 健康福祉局 障害者支援課

福山市まなびの館ローズコム

副施設長 渡辺王憲

4 / 9

「福山福祉専門学校 第24回入学宣誓式」

福山福祉専門学校

備後地域地場産業振興センター

統括 井出和人

4/21～22

「第48回中国地区知的障害関係施設長会議」

広島県知的障害者福祉協会

山口グランドホテル

施設長 渡辺王憲

4/27

「福山市社会福祉施設連絡協議会 意見交換会」

福山市社会福祉施設連絡協議会

福山市ニューキャッスルホテル

施設長 渡辺王憲

5/30

「広島県知的障害者福祉協会 総会」

広島県知的障害者福祉協会

ホテル広島ガーデンパレス

施設長 渡辺王憲

5/31

「広島県知的障害者福祉協会総会 福山・府中圏域会議」

広島県知的障害者福祉協会

福山すこやかセンター

施設長 渡辺王憲

7/1

「福山市市制施行100周年記念式典」

ふくやま芸術文化ホール

福山市

統括 井出和人

7/5

「人権意識を高める研修（初任者編）」

広島県社会福祉協議会

まなびの館ローズコム

生活支援員 吉岡幸彦

7 / 30

「社会人としてのビジネスマナー」  
広島県知的障害者福祉協会  
アルセ カトレアの間  
生活支援員 瀧安雄太

8 / 3

「社会福祉業労働災害防止等講習会」  
福山市三吉コミュニティーセンター  
福山労働基準監督署  
統括 井出和人

8 / 18

「はなお役員会」  
老人保健施設 かなえ  
松永沼隈福祉施設連絡会 はなお  
生活支援員 瀧安雄太

9 / 9

「はなお役員会」  
老人保健施設 かなえ  
松永沼隈福祉施設連絡会 はなお  
生活支援員 瀧安雄太

9 / 15

「社会福祉法人 役員研修」  
広島国際会議場  
広島県社会福祉協議会  
統括 井出和人

9 / 30

「感染症予防対策に係る説明会」  
広島県民文化センターふくやま  
福山市障害福祉課  
生活支援員 瀧安雄太

10/14

「安全運転管理者等講習」

広島県東部運転免許センター

広島県公安委員会

統括 井出和人

10/16

「地域巡回型福祉・介護職場の就職面談会」

福山ローズアリーナ

広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会

統括 井出和人

10/24

「事業所・施設等における安心安全な施設の整備に関する説明会」

福山ローズコム

福山市障害福祉課

統括 井出和人

11/ 9～10

「監事専門講座」

東京ファッションタウンビル

全国社会福祉法人経営者協議会

統括 井出和人

11/17

「年金委員・健康保険委員研修会」

福山リーデンローズ

日本年金機構福山年金事務所・全国健康保険協会 広島支部

出納職員 井出恵美子・細谷沙由里

12/ 8

「社会福祉法人制度改革対応セミナー」

メルパルク広島

広島県社会福祉法人経営者協議会

統括 井出和人

12/9

「社会福祉法人制度改革施行に向けた説明会」

福山市役所 本庁舎

福山市 福祉総務課

統括 井出和人

12/12

「経営の視点を持ったマネジメント研修」

広島県社会福祉会館

広島県社会福祉協議会 研修開発課

統括 井出和人

1/20

「広島県知的障害者福祉協会 福山・府中圏域会議」

広島県知的障害者福祉協会

福山すこやかセンター

管理者 渡辺王憲

2/9・10

「防火管理者講習」

広島県消防設備協会

福山市生涯学習プラザ

施設長 渡辺王憲

2/13

「年金委員・健康保険委員合同研修会」

全国健康保険協会広島支部

福山芸術文化ホール

主任出納職員 井出恵美子

2/22

「決算法人説明会」

全国健康保険協会広島支部

福山法人会

主任出納職員 井出恵美子、出納職員 細谷沙由里

2 / 27

「社会福祉法人会計実務者決算講座」

岡山コンベンションセンター

全国社会福祉協議会

主任出納職員 井出恵美子、出納職員 細谷沙由里

3 / 9

「広島県知的障害者福祉協会総会・研修会」

広島県知的障害者福祉協会

ホテル広島ガーデンパレス

施設長 渡辺王憲

3 / 18

「福山福祉専門学校 卒業証書授与式」

福山福祉専門学校

福山ニューキャッスルホテル

統括 井出和人

3 / 22

「福山市立松永小学校 卒業証書授与式」

福山市立松永小学校

福山市立松永小学校 体育館

統括 井出和人

3 / 23

「指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修」

広島県健康福祉局障害者支援課

福山市まなびの館ローズコム

施設長 渡辺王憲

## 2. 徳島作業所

〈施設行事〉

(1) 4 / 2 花見会を後山公園（福山グリーンラインない）にて実施した。

(2) 11 / 11

姫路城（兵庫県）へ日帰り旅行をする。

(3) 12/29

忘年会を割烹料亭 香の月（尾道市高須町）で行った。

〈避難訓練〉

9/27（松永・徳島合同）

〈職員研修〉

施設外

3/17

「平成27年度NHK歳末たすけあい第2次助成交付式」

広島県社会福祉会館

広島県共同募金会

統括 井出和人

7/28、29

「防火管理者講習」

広島県消防設備協会

まなびの館ローズコム

サビ管理者 渡辺桂輔

### 3. まつなが総合生活支援センター さぼーと

〈施設行事〉

(1) 5/17 デイサービスセンターさぼーとで避難訓練を実施した。

(2) 8/23～26 さぼーと・みらくる合同夏まつりを実施した。

〈推進会議〉

9/8（デイサービス）、

〈施設実習〉

(1) 8/22～26

チャレンジウィークふくやまで松永中学校3名が体験に実習に来られた。

(2) 10/25、26、28

松永小学校5年生3クラスが交流会のため来所した。



〈職員研修〉

施設内

12 / 14

「事例検討会」

デイサービスセンターさぼーと事務所

9名参加（デイさぼーと、みらくる常勤・非常勤職員）

施設外

3 / 4

「高齢者福祉施設防火実務研修会」

福山市西防火協会

福山西消防署

所長 森迫一成

3 / 17

「大学主催合同企業説明会」

福山平成大学

福山平成大学 図書館

所長 森迫一成

4 / 22

「平成28年度障害支援区分認定調査員研修（初任者研修）」

福山市障害福祉課

広島県庁 本館6階講堂

所長 森迫一成

7 / 29

「広島県相談支援従事者初任者研修（後半演習）」

広島県障害者支援課

広島市東区民文化センター

管理者 森迫一成

8 / 22

「第48回消防競技大会 事前説明会」

福山地区消防組合

福山消防合同庁舎2階 講堂

ケアマネ 迫川美保

8 / 17 ~ 19

「広島県相談支援従事者初任者研修（後半演習）」

広島県障害者支援課

広島市東区民文化センター

管理者 森迫一成

9 / 7

「法令順守、倫理、個人情報・プライバシー保護」

広島県介護支援専門員協会

広島県民文化センター ふくやま

ケアマネ 迫川美保

9 / 12

「市町協議会事務局連絡会議」

広島県

広島県庁 自治会館

管理者 森迫一成

9 / 21

「総合支援法を理解し、障害福祉サービスと介護保険の

シームレスな連携」

広島県介護支援専門員協会

広島県健康福祉センター

管理者 森迫一成

9 / 30

「感染症予防対策に係る説明会」

広島県民文化センターふくやま

福山市介護保険課

デイ管理者 和田典子

10 / 6

「第48回消防競技大会」

福山地区消防組合

芦田川運動公園

デイ管理者 和田典子、ケアマネ 迫川美保

11 / 2

「はなお役員会」

老人保健施設 かなえ

松永沼隈福祉施設連絡会 はなお

ケアマネ 迫川美保

12 / 10

「第5回きらっと光る人生を考える研究大会」

広島県知的障害者福祉協会、広島県手をつなぐ育成会

広島県健康福祉センター

管理者 森迫一成

1 / 24

「介護記録研修会」

お茶の水ケアサービス学院

広島健康福祉センター

介護職員 岩川千晶

1 / 26

「地域支えあいから創る虐待防止」

福山市高齢者支援課

広島県民文化センターふくやま

管理者 森迫一成

2 / 2・3

「相談支援従事者現任研修 演習グループリーダー」

広島県障害者支援室

広島サンプラザ

管理者 森迫一成

2 / 2

「医療介護連携のための

退院調整状況調査及び退院後生活状況調査結果報告会」

広島県地域包括支援推進センター  
広島県福山庁舎  
ケアマネ 迫川美保

2 / 4

「障害のある人の地域生活支援セミナー」  
広島県知的障害者福祉協会  
東広島市市民文化センター  
管理者 森迫一成

2 / 17

「相談支援部会研修会・意見交換会」  
広島県知的障害者福祉協会  
広島県社会福祉会館  
管理者 森迫一成

2 / 25

「障害福祉サービスと介護保険のシームレスな連携に向けて」  
広島県介護支援専門員協会  
福山市生涯学習プラザ  
管理者 森迫一成

3 / 3

「高齢者福祉施設防火実務研修会」  
福山市西防火協会  
福山市西消防署  
デイ管理者 和田典子

3 / 3

「介護サービス事業者説明会」  
福山市介護保険課  
ふくやま芸術文化ホール  
デイ管理者 和田典子、ケアマネ 迫川美保、

3 / 9

「福山西部地区多職種連例の会 地域ケア会議」

福山市高齢者支援課  
福山市西部市民センター  
ケアマネ 迫川美保

3 / 23

「指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修」  
広島県健康福祉局障害者支援課  
福山市まなびの館ローズコム  
管理者 森迫一成

#### 4. デイサービスセンター みらくる

〈施設行事〉

(1) 6 / 14 避難訓練を実施した。

〈推進会議〉

9 / 15

〈避難訓練〉

11 / 11

〈お出かけ〉

・ 3 / 3

ひな祭り典 足あとスクエア見学  
利用者7名

〈職員研修〉

施設外

3 / 3

「介護サービス事業者説明会」  
福山市介護保険課  
ふくやま芸術文化ホール  
介護職員 井出智大

3 / 13

「介護サービス事業者説明会」  
福山市介護保険課

福山リーデンローズ  
介護職員 北村美香

9 / 29・30

「防火管理者講習」  
広島県消防設備協会  
福山市生涯学習プラザ  
管理者 北村 美香

12 / 4

「認知症の心に寄り添うバリデーション」  
広島県保険医療協会  
まなびの館ローズコム福山  
管理者 北村 美香

◎事務部

〈事務処理〉

- 4 / 1 障害福祉サービス事業 松永作業所の非常勤職員として上品優さんを採用した。
- 4 / 20 広島県共同募金会より障害福祉サービス事業 徳島作業所に車両整備のため平成27年度NHK歳末たすけあい助成金65万円が振り込まれた。
- 7 / 12 居宅介護支援事業所で福山市介護保険課のケアプラン点検が行われた。(福山市介護保険課より3名の方が来られた)
- 7 / 31 松永作業所のパート職員の東希香さんが一身上の都合で退職した。
- 8 / 4 徳島作業所のパート職員の岡田愛子さんが一身上の都合で退職した。
- 8 / 16 デイサービスセンターさぼーと、みらくるの運転手として宮里清典さんを採用した。
- 9 / 1 福山市介護保険課より7 / 12に実施されたケアプラン点検の結果通知が届いた。
- 9 / 2 法人の社会福祉法人等指導監査が福山市福祉総務課が来て行われた。
- 9 / 20 福山市福祉総務課より9 / 2に実施された指導監査結果の通知が届いた。

- 1 1 / 2 1 徳島作業所の自主的内部検査を監査者：和田典子、井出和  
人で立会者：渡辺桂輔にて行う。
- 1 2 / 7 福山労働基準監督署に平成27年度の労働保険料一般拠出金  
の点検を受ける。理事長が対象者になっていたのが対象から外  
すように指摘を受ける。それ以外の指摘事項なし。
- 1 2 / 2 2 職員に賞与を支給した。
- 1 / 6 広島法務局福山支局へデイサービスセンターみらくるの賃  
借権抹消と地上権設定の登記申請と徳島作業所の地上権設定  
の登記申請手続きを行った。
- 3 / 3 1 障害福祉サービス事業 松永作業所の非常勤職員の上品優さ  
さんは契約期間満了で終了する。継続はしない。

〈保護者会〉

- 9 / 3 保護者定例会が行われた。
- 1 0 / 1 保護者定例会が行われた。
- 1 1 / 5 保護者定例会が行われた。
- 3 / 4 保護者定例会が行われた。

〈施設長専決事項〉

1、全事業所の財務会計ソフト更新事業について

①契約締結方法

随意契約

②随意契約の理由

経理規程第68条第1項(2)に該当。

③見積徴取業者・請負業者

パイオニア電子計算センター

④見積徴取業者選定理由

財務会計ソフトのメンテナンス等をする業者

⑤見積価格

324,000円

⑥契約締結日

2016年 3月25日

2、松永作業所会議室他工事について

①契約締結方法

随意契約

②随意契約の理由

経理規程第68条第1項(1)に該当。

③見積徴取業者・請負業者

建設施工コンサル HIGH BRIDGE

④見積徴取業者選定理由

会議室の改修工事、門扉の取り換え工事、駐車場の柱埋め込み工事等を調整・取りまとめてくださる業者

⑤見積価格

980,000円

⑥契約締結日

2016年 4月15日

井出理事長より「事後報告になりますが、次の3、4、5の事業について昨年度行われた事業であり報告が遅れたことお詫びします。」の申し出があった。続いて事業の報告がされた。

3、PCの更新事業について

①契約締結方法

随意契約

②随意契約の理由

経理規程第68条第1項(2)に該当。

③見積徴取業者・請負業者

パイオニア電子計算センター

④見積徴取業者選定理由

財務会計ソフトとPCのメンテナンス等をする業者

⑤見積価格

399,600円

⑥契約締結日

2015年 9月 7日

4、マイナンバー対応の追加ソフト事業について

①契約締結方法

随意契約

②随意契約の理由

経理規程第68条第1項(2)に該当。

③見積徴取業者・請負業者

パイオニア電子計算センター

④見積徴取業者選定理由



財務会計ソフトとPCのメンテナンス等をする業者

⑤見積価格

129,600円

⑥契約締結日

2016年 1月 4日

5、共生ホーム201号室改修工事について

①契約締結方法

随意契約

②随意契約の理由

経理規程第68条第1項(6)に該当。

㈱オキ、㈱オービス等以前工事に携わってくださった業者に依頼するが年度末で忙しくて手が回らないとの理由で断られる。HIGH BRIDGEのみが引き受けてくれた。

③見積徴取業者・請負業者

建設施工コンサル HIGH BRIDGE

④見積徴取業者選定理由

キッチン取り換え工事、洗面台クロスパネル張替え工事、居室小窓の工事等を調整・取りまとめてくださる業者

⑤見積価格

980,000円

⑥契約締結日

2016年 3月14日

〈理事長専決事項〉

重要事項の該当なし



# 松永作業所

## 平成 28 年度事業報告

松永作業所（定員 40 名）の年間平均利用率（契約者総数に対しての出席率）は 81.8%、1 日平均 40.9 名、月述べ利用者数の平均 918 人であり、出席率は 80% をキープでき、それぞれの平均数値は微妙ではありますが上がった。長年にわたり利用していた利用者 2 名が亡くなるという悲しい事もありましたが、新規で 3 名の利用者と契約する事もでき、引き続き定着できるようにしていきたい。

送迎については対象者が 19 名にまで増えているが、必要性を検証しながらこれからも対応していきたい。

利用者支援においては、個々のニーズに沿った、必要で適切な社会自立と自己実現のための支援に向け、今後も努力していきたい。そのためにも相談支援事業所との連携を重視し、きちんとしたニーズ把握と、その前提となる意思表示のためのコミュニケーション支援を引き続き行っていく。

就労活動としては、1 年を通して就労収入は約 6,400,000 円で、前年に比べ 300,000 円程減少してしまっていたが、ほぼ安定した作業は提供できた。今年度に新規で外作業が 1 社、下請け作業が 3 社と取引が始り、来年度には収入増の期待が出来き、利用者工賃に反映できるよう、取り組んでいきたい。作業の受注や利用者支援については、みんなで協力しながら対応できた。

グループ別活動などにより調理や清掃洗濯などの地域生活力の向上のための活動を行い、自信と意欲が出てきた利用者も多かった。

旅行や地域交流行事、忘年会などの行事も計画通りに実施し、様々な生活体験機会の拡大や心身機能向上、自信と積極性の育成など、多くの成果につながっている。

研修についてはまだまだ強化が必要で、今年度も職員一人一人が外部研修に参加できる機会が少なかった。今後も質量ともに充実した研修を行っていくようにしたい。外部研修に積極的に参加できるような体制作りも大切である。

わいわいフェスタやゲタリンピックなどの地域交流行事や実習生・ボランティア・見学者・相談者の受け入れ等によって、当施設と知的障害者に対する地域の方々の認知・理解が高まってきたと思われる。今後も重要な社会資源の 1 つとして地域の福祉拠点となるよう、地域の諸機関・諸団体との交流・連携を深めていきたい。

利用者の高齢化や家庭の状況の変化などを勘案しながら、29 年 5 月から事業開始するグループホームびすけっとや一人暮らしの情報提供も必要になってくる。これからも、健康管理や住まいの確保が必要となってくると思われ、体調や家庭環境の変化、ニーズの変化などをくみ取れるような支援を心がけていきたい。

# 平成28年度 徳島作業所 事業報告

単独の就労継続支援 B 型事業所として 4 年目を迎え、適切なニーズ把握による適切な支援・サービス提供を行う事、および事業所としての認知度の向上を念頭に活動した。

平成 28 年 3 月末時点で 20 名だった契約者数は平成 29 年 3 月末時点では 20 名と横ばい。平成 28 年度中の新規契約者数は 3 名、退所者 3 名（A 型へ移行…1 名、他の B 型へ移行…1 名、死亡…1 名）である。

月延べ利用者数について、1 ヶ月平均は 220 人（上半期 221 人、下半期約 220 人）1 日の平均利用人数は 9.8 人（上半期 9.8 人、下半期 9.8 人）と昨年度の 10.6 人を下回る結果となった。（今年度出席率：約 49%、昨年度出席率：55%）今後は欠席しがちな利用者への働きかけによる出席率向上や事業所のアピール等による契約人数の増加に努め、利用人数の増加を目指していく。

年間の授産活動による利益は約 1,800,000 円、月平均で約 150,000 円と昨年より約 10%ダウンという結果となっている。1 日あたりの利用人数の減少による調整は必要だったものの、作業量的には年間を通して安定かつ継続していたといえる。しかしながらここ数年、取引企業数は横ばい状態で、先方の状況によっては作業量の確保が難しくなる可能性もあり、新規取引企業の開拓は今後の重要課題として捉えていく必要があると感じている。

1 人当たりの月平均工賃は約 13,000 円となっており、ほぼ昨年度並みの水準である。当面の目標である 1 日の利用人数 15 人程度を想定した作業量・工賃(利益)の確保に向けた体制の再構築および中期目標額である 1 ヶ月平均工賃 15,000 円の達成に向けて引き続き各種取り組みを行っていく必要がある。なお 28 年度における工賃比率は室外 14%・室内 86%であった。20%程度になるよう、引き続き室外作業の比率向上に努めていく。

作業以外の活動において、地域生活力の向上を目標とする利用者に対してはグループ別活動内での調理実習など、運動を希望する利用者に対してはクラブ活動などの機会提供を行った。花見会・忘年会等の際には障害特性に応じた会場の選別等を行った。また外出活動等を通じて社会資源の活用方法についての支援を行い、概ね好評であった。

引き続き安定期の利用者にとっては安心して生産活動ができる事業所としての役割、回復期と思われる利用者にとっては社会復帰支援が可能な社会資源といった様々なニーズへ対応していく必要があると思われる。

相談支援事業所さぼーとはもちろん、他法人の相談支援事業所等との連携を重視し、適切なニーズ把握と適切な支援を行うことで、より信頼される事業所を目指していく。

## 平成28年度 相談支援事業所さぼーと事業報告

### 1. 契約者について

年度初めには168名だったが、他事業所への移行や死亡、サービス中止により18名減ったものの精神科病院から精神疾患を持たれる方の紹介などにより31名増え、年度末には181名となった。

### 2. 計画相談支援業務について

相談受付からサービス計画作成案の作成、市への提出までを約1週間で実施。新規利用者の受給者証発給まで約1.5ヶ月かかる為、新規利用が集中した場合は、聞き取りの中で優先順位を決めて取り組んでいった。

更新せずに数ヶ月経過した場合、以前はモニタリング及びサービス等利用計画案の提出で済んでいたが、今は新規申請となり基本情報の提出に加え、支給決定まで時間がかかるようになっており、利用者に対して、サービス利用の可能性がある場合は、更新手続きを忘れないよう訴えていく必要がある。

65才を迎えるヘルパー利用者に、障害サービスから介護保険サービスへの移行について説明しつつ、地域包括支援センター職員と同行訪問し、介護保険サービスへの移行を実施すると共に、障害と介護保険を併用する場合は、ケアマネと連携し支援した。

また、一人暮らしで食生活などに支援が必要な利用者に対して、ヘルパー導入の他に市の配食弁当の支給申請を実施した。

### 3. 来年度について

65才を迎える利用者に、介護保険サービスについてしっかり情報提供しながら、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所としっかり連携していく。

# 平成28年度 デイサービスセンターさぼーと 事業報告

## ◎ 事業の目的に対して

利用者・家族の望む生活の実現に向けて計画書をもとに支援し、認知・下肢筋力の低下をしている方などに対し生活不安の軽減、生活意欲の向上を念頭に残存能力の維持・向上に努めました。

小規模という事で個々を大切にした介護・看護・家族との連携を行ってきた。

## ◎ 利用者の推移

契約者数 37 人（平成 29 年 3 月時点）。昨年より 3 名減。入院、他施設への入所、ショートステイの利用増加もあり利用減少となる。新規の利用者は 4 名だったが体調不良等で 1 人は入所、もう 1 人は利用を休止されています。個々の利用日数が増えた利用者も増えました。また気温の変化の激しい月には体調を崩し入院される利用者もいらっしゃいました。

## ◎ サービスの内容について

定員 18 人という小規模という特性を生かし、個人を尊重し家庭のニーズに応えられるような支援に努めた。入浴の時間、トイレへの誘導、レクリエーションへの参加などでは、個々の状態に合わせ、個別な対応ができるよう努めたが、利用者の体力・下肢・認知低下のため職員が目を見守る状態が現状で午前中は特にグループでの運動を中心にを行い安定を図っていきました。

介護度認定が厳しくなっており、認知・機能低下はしているものの介護度は変化しないのが現状です。

## ◎ 来年度に向けて

利用者・家族に満足していただき、地域に信頼される事業所となれるよう、引き続き誠実な対応およびサービスの提供に努める。

地域密着型通所介護となり、定員 18 名。月の延べ人数が 330 前後を目標とし、個々の通所介護計画に基づいた利用者個人を尊重したきめ細やかな対応を心掛け、日々、職員の資質の向上やサービスの質の向上を特に努める。

職員全体のケア会議を開催しよりよいサービス提供を行い改善を行っていく。

地域密着運営推進会議を年 2 回（9 月・3 月）開催する。地域の方・民生委員・利用者・家族・市職員 西南部包括支援センター職員等に参加していただき開かれた事業所を目指していく。

# 平成 28 年度

## デイサービスセンターみらくる

### 事業報告

平成 26 年度から開始し、3 年目となる年度であった。管理者兼生活相談員 1 名（生活相談員が非常勤専従で 1 名）、介護職員 2 名（11 月から 3 名になった）、機能訓練指導員 2 名という配置で、定員は引き続き 10 名。

4 月は月述べ利用 134 人からのスタートとなり、前年度の 4 月より 42 人増えている。新規の利用者も加わり月平均 160 人であったが、例年通り冬場の 12 月～2 月は体調不良などにより利用数が減少している。また、さぼーととみらくる両方を利用されていた利用者がさぼーとのみを利用する方がいと利用終了となった方がおり利用者数減少に影響している。28 年度は定員 10 人に対し利用率 80%＝1 日利用平均 8 人、一月当たり利用延人数 160 人を目標としたが、月述べ利用 160 人という目標は達成することができた。しかし、曜日によって人数の偏りが目立つ。

人数が増えたことにより弁当のキャンセルが複数重なることがあり、29 年度からは当日キャンセルに対し、弁当代 410 円を利用者負担として頂くよう調整している。弁当の注文やキャンセルに適時対応していかなければならない。

他の居宅介護支援事業所や地域包括支援センターとの連携では、今後も密に連絡のやり取りを行い、信頼関係を築いていきたい。

また、28 年度より地域密着型通所介護に移行し、運営推進会議を年二回開催している。地域の方や民生委員、利用者家族に参加して頂け、地域や家族へ開かれた事業所として来年度も運営していきたい。

職員体制では、人欠に対し補充が必要な曜日もあり、デイサービスセンターさぼーととの連携を密にして、早めの対応と協力体制で不安の軽減と人員配置厳守に留意することが来年度も必要である。

## 平成28年度居宅介護支援事業所さぼーと事業報告

### 1. 居宅介護支援について

#### I. 登録者及び給付管理

本年度もケアマネ3名（常勤2名非常勤1名）体制で実施。月平均の登録（契約）者数は46名、給付管理者数は29名で、昨年度より登録者6名、給付管理者3名減少した。

#### II. 居宅介護支援業務等について

居宅介護支援に関わる法令を遵守していく中でケアプランの一連の業務に記録漏れがあり市のケアプラン点検時に指摘を受けた。以後、一連の業務の見直しを行い、必要なアセスメント書類を整えつつ、漏れを防ぐために管理者を中心としたケアプラン点検を実施する事とした。

### 2. 介護予防について

本年度も包括主催の地域ケア会議に参加し民生委員や包括職員と連携を深めていきながら、包括の委託による予防プランを月平均17名受託。そのうち要介護に移行した方の居宅支援を実施したり、包括より新たな要介護者の紹介を受けた。

### 3. 来年度について

居宅介護支援の質の向上を目指しながら、常に利用者の立場に立った支援が提供できるよう心掛ける。



## 平成28年度 自立支援型共生ホームさぼーと事業報告

### 1. 状況報告

4月に1室空室があったが5月に入居され満室になる。9月に不慮の事故で入居者が死去、空室になるが11月に入居され満室で年度末を迎えた。

入居申込み（待機）者が1名いるが、現在も本人には入居の意思はない。

### 2. 既入居者に対して

高齢の入居者が病気で検査・入院されるも短い入院で済む。

障がい入居者の1名がうつ的な言動が見られ数日の間、作業所を休むようになった為、精神科受診を勧めつつ定期的な面談を繰り返す。顕著な変化は見られなかったが作業所をずっと休む事は無くなった。

### 3. 清掃業務について

週1回4時間のパートと、週3回2時間程度、松永作業所メンバー2名、職員1名の体制で清掃業務を実施。4Sチェックリストを基本に清掃分担してもらった。

### 4. 来年度に向けて

折に触れ、各関係機関にホームについて情報提供を行い、入居待機者の確保ができるよう普段から取り組む。

